

伊太小学校区の学校再編成（案）説明会 記録

- 1 日 時 令和元年6月19日（水）午後7時から午後8時30分まで
- 2 会 場 梅の里伊太コミュニティセンター
- 3 参加者 伊太小学校PTA、伊太小学校区自治会・町内会
伊太小学校区民生委員・児童委員、島田市教育委員会
- 4 参加人数 57人（保護者19人、地域住民36人、その他2人）

5 区長あいさつ

先に北部ふれあいセンターで開催された説明会はとても広域であり、北部は地区ごとに状況が異なるため、伊太地区単独での説明会をお願いした。伊太小学校はおよそ145年、北中学校は大長中の頃から87年程の歴史があり、統合されることに寂しさを感じるが、押し寄せる少子化の波やよりよい教育環境で子供たちを育てていくためには、避けては通れないものともいえる。8月には方針が決定することなので、今日は皆さんの意見や思いを伝え、よりよい関係づくりの機会となることを期待する。

6 教育委員会より説明

（1）再編計画（案）について

教育環境適正化検討委員会の最初の案には、北部4小学校で一つの小学校、さらには北中学校を含めた小中一貫校というものもありました。しかし、以前私が学校教育課長だったときに「伊太小の保護者から島一小に通わせてもらえないか」という相談が2件ありました。また、平成30年度の伊太小卒業児童の半数が私学等北中以外の中学校に入学しました。このような傾向が続くと、平成29年度に生まれた子が18人ですので、今より深刻になることが予想され、新しい小中一貫校ができたとしても、その学校に入学してもらうことは難しいのではないかということになり、適正化検討委員会の中で北部地区だけの統合という案は消えることになりました。

令和6年に北部4小学校と島一小を統合となった理由は、島一小の校舎改築または改修完了後の新校舎で、子供たちに新たなスタートを迎えてもらいたいというご意見を尊重させていただいたからです。

令和3年に北中学校と島一中を統合となった理由は、当時の北中の保護者から切磋琢磨できる学習環境や部活動の選択の幅を広げたいなど、少しでも早く統合してほしいという意見があったことなどです。

7 質疑応答

●資料にあるアンケートはどの単位でとられたものか。

⇒北部ふれあいセンターや初倉公民館など、地区ごとの説明会に参加した方に記入していただいたものです。

●はじめから「統合ありき」のようであるが、子どもを増やすことは考えていないか。

例えば、団地を増やすなど・・・。

⇒市としての定住計画はありますが、少子化は全国的なもので出生率1.42という状況から

この先増えていくことは難しいと思います。また、この計画は突然提示したのではなく、4年前から検討してきてその都度発信してきています。

⇒金谷にアウトレット等を建設するなど、雇用を増やすことにも力を入れています。雇用を増やすことが島田市に定住する人の確保につながればと考えています。

●他市のような医療や保育等のケアをすることも大切ではないか。

⇒島田は500円で医療が受けられる制度がある。無料化すると、少々のことでも通院する人が増えて医療機関が混雑してしまうため、必ずしも無料が最良とは限らないと思っています。島田市の待機児童については、昨年度は0人を達成し改善してきています。

●北部地区の人口がもし今後増えるようなことがあった場合、統合を解消し、元の学校に戻すことは考えているか。

⇒新たに学校を新設することはありません。5年や10年の短いスパンであれば一時的に増えることはあるかもしれませんが、将来的には減少するという推計が出ており、島田の人口は6万人くらいになるとも予想されています。また、伊太小学校でも数年後には複式学級になっていく可能性があり、その解消が先決であると認識しています。

●統合はなぜ、令和3年と6年なのか。時期についての説明がほしい。

⇒北中でサッカーができない等、様々な理由から、できるだけ早く統合してほしいという意見が出ていました。また、いきなり統合すると子どもが馴染めない可能性がありますので、いっしょに授業や行事をするなど1年間の交流期間を経てからの統合と考えますと、中学校については令和2年が交流期間、令和3年に統合することが最短ということになりました。なお、小学校については、島一小の改築工事が令和5年末に終了予定なので、令和5年が交流期間で新しい校舎でのスタートとなる令和6年の統合という線になりました。

●統合を受け入れる側（島一小や島一中）の反応はどうか。子どもが馴染めるか、いじめは大丈夫か。

⇒1年間の交流活動を経ることで、できるだけ馴染めるようにします。また、子どもが安心できるように教員もいっしょに異動することを検討してします。

⇒子どもが少数派になったときの配慮も考えていまして、例えば、伊久美小から3人が島一小に行った場合、その3人を同じ学級にするなど、保護者と相談して対応していきます。

●通学路は決まっているか。事故対応はどうか。

⇒まだ決まっていますが、今後きちんと対応しなければならないことです。事故や不審者については、統合地区以外でも同じように対応策を練っていかなくてはならないことですし、見守り活動など地域の方の力はとても大きいと感じています。

●統合については、島一中や島一小の地域の方や保護者には伝えてあるか。

⇒段階的に伝えている状況です。まずはPTAの本部役員から伝えて、最後にはきちんと子どもにも伝えていきます。

●計画がここまで進んでいるのなら「知っている人は知っている」のではなく、学校を通じてでもいいのでもっと市から積極的に発信してほしい。

●伊太小学校がなくなってしまうことで、力をいれている地域の活動がなくなってしまうととても寂しい。

●特別支援学級や通級に入る児童が増えると思うが見通しはどうなっているのか。

⇒島一小は、普通学級同様に特別支援学級が増えることも見込んだ設計になります。また、通級については、島四小の隣に大規模な通級棟をつくっていますので、市全体では十分な人数を確保できるものと考えています。併せて、サテライト等も今後充実させていきます。

●現在伊太小の放課後児童クラブを利用している。今後はどうなるのか。

⇒放課後児童クラブは、島四小体育館に100人程度利用できる部屋を併設する計画でいます。島一小については、これから設計に入るため、皆様のご意見を十分に反映させた校舎建築をすることができると考えています。

●説明会で出た意見を伊太区のみんなに知ってほしいので、回覧等で広く周知してほしい。みんなで共有できれば、協力できることも出てくると思う。

⇒ホームページ等でも発信してきましたが、なかなか伝わらないと感じていることも確かです。ぜひ、提案してくださった方法など検討していきたいと思えます。

●学校名、校歌、校章などはどうなるのか。

⇒合併で言えば、対等合併という意識で考えていますので、学校名や校歌、校章についても協議が必要だと考えています。しかし、5つの小学校が一つにまとまるので、どのようにきめたらよいか、非常に難しいところです。最終的に変わらなかったとしても、子ども全員がそのような意識をもって生活できるよう、じっくり時間をかけて検討していく必要があります。

●子ども達への説明はどうか。学校を通じてきちんと説明してほしい。統合に対する子どもたちの期待や不安の声を聞いてみたい。

⇒再編計画策定委員会のメンバーに各学校の校長も加わっているため、今後きちんと説明していきたいと思えます。

⇒令和5年が交流期間と考えていますが、もっと早くから交流を始めることも可能です。ぜひ子供たちの不安が期待に変わるよう、対応していきたいと思えます。また、交流活動などに力を入れていきますが、それでも戸惑いをもつ子がいましたら、ぜひ保護者の皆様にもフォローしていただければと思えます。子供にとっては、何より保護者の皆様からの後押しが勇気を与えます。よろしくお願ひします。

●島一小は改修なのか改築なのか。

⇒耐力度調査の結果は今年度中に出ますので、現段階でははっきりしていません。

●統合する学校への空調設備はどうなるのか。

⇒島四小以外は市内全学校の普通教室に設置が完了しました。伊太小のように再編成を予定されている学校の空調設備については、一般家庭にあるようなものを設置しましたので、仮に閉校ということになりましたら、取り外して他の学校の特別教室等の再設置することが可能です。無駄にはなりません。